

SOIL CONDITIONER

ランドライフ®

土壤環境改善剤
5ℓ×4



ゴルフ場のグリーンは、サンドグリーン構造が主体となっています。サンドグリーン構造は、塩基置換容量（CEC）が小さい為、塩基飽和度が高くなりやすい欠点をもっています。塩基飽和度が高くなると、土壌pHはアルカリ性となり、チッ素、リン酸、加里、鉄、マンガン、ホウ素等の養分は不溶化します。よって施肥された肥料養分は吸収されず、土壌に集積され、ますます飽和度は高くなります。塩基飽和度の高い土壌は、ドライスポットの原因ともなり、根は吸水阻害を受けやすくなります。また、表層に集積したチッ素、リン酸、鉄等は藻類の増殖源になります。

用途別使用例

アルカリ土壌pHの調整 塩基類の除去

塩基飽和度を超え、不溶化した塩基類をランドライフの化学反応によって可溶化しアルカリを中和します。pHが高い場合、一度に土壌深くまで中和する事は困難ですが、更新作業等の管理作業において継続的に使用すると効果的です。

ランドライフと塩基類の反応



使用例

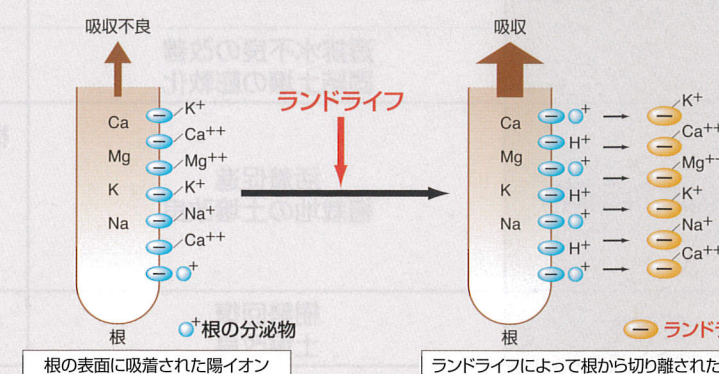
ランドライフ5～10ml(200倍) 1～2ℓ/㎡

注意: アルカリ土壌のpH調整は土壌分析結果にもとずいてランドライフ使用量を決定してください。エアレーション作業後の使用が効果的です。ランドライフ散布後は十分な散水をする事が重要です。

肥料の活性化

施肥された肥料の大半は吸収されますが、根の活性が低下しますと、根の表面に多量の肥料が吸着し、濃度障害が起き肥料吸収が悪くなります。ランドライフは根の表面に吸着した肥料を切り離し、土壌に分散させ吸収しやすい濃度に調整します。液肥との混用が効果的です。

肥料(陽イオン)とランドライフの反応



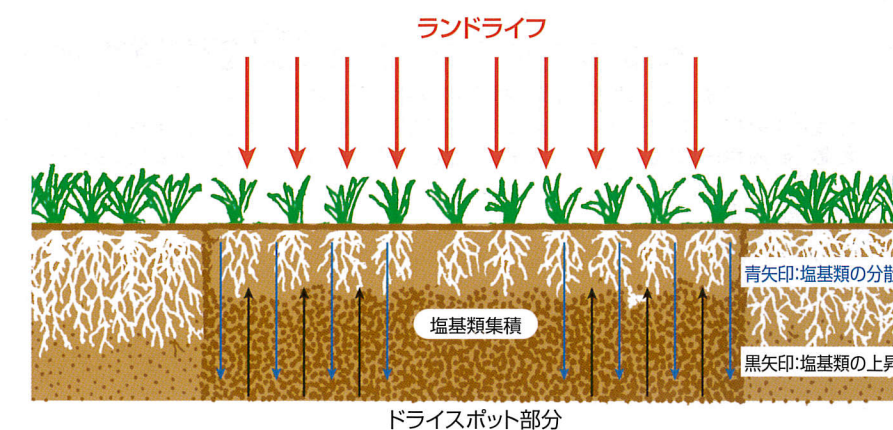
使用例 (1000ℓタンク使用)

液肥
ランドライフ2ℓ(500倍) } 水1000ℓ 混用散布
注意: 葉面散布には使用しないでください。

ドライスポットの 軽減対処方法

ドライスポットの発生原因については未解明な部分が多く、本症状の特徴である撥水性物質の発生原因は明らかではありませんが、高温期のドライスポット部は一層乾燥しやすい為、塩基類の集積が起こり、吸水阻害を受けやすくなります。ランドライフはイオン交換作用と浸透作用によって、土壌吸着した塩基類を上層から下層に分散させ、濃度障害を解消し根の吸水量を高めます。

土壌水分と塩基類集積



使用例

ランドライフ10ml/㎡を200倍以上で散布(出来るだけ多くの水量で処理すると効果的です。)

※効果的な使用方法

芝生の萎凋が起きてからの散布は効果が低減します。ドライスポットの兆候が出る前に散布してください。コアリング作業との併用が効果的です。

ランドライフの使用方法

対象	用途	使用量	備考
ゴルフ場 緑地 スポーツグラウンド	土壌pHの調整 塩基類の除去	10ml/m ² 200倍希釈	全面散布
	液肥の肥効促進 肥料の活性化	2ℓを水1000ℓ (500倍)液肥混用	液肥散布時
	ドライスポット対策	10ml/m ² 200倍希釈	部分散布
	透排水不良の改善 固結土壌の膨軟化	10ml/m ² 200倍希釈	全面散布
緑化樹木植栽時	活着促進 植栽地の土壌改良	植鉢直径1mの場合 1ℓを200倍で 植鉢処理 または20ml/m ² 200倍で散布	植鉢処理 樹冠内処理
衰弱木	樹勢回復 土壌改良	同上 または土壌注入	樹冠内処理
アルカリ性用水のpH調整	アルカリ性の中和	水のpHを測定し添加 量を決定して下さい	使用時に 添加して下さい

製造・発売元 株式会社 **ジャット** <http://www.jaht.co.jp>

本社:〒560-0083 大阪府豊中市新千里西町1-1-4 TEL.06-6833-5021 FAX.06-6833-5026
北海道支店011-846-1541 東北支店022-246-1588 福島営業所0245-76-4579 関東支店048-682-2885
大阪支店06-6835-1351 九州支店0942-43-1371 南九州支店0985-64-0790

SOIL CONDITIONER

ランドライフ®

土壌環境改善剤

- 土壌pH(アルカリ)の調整
- 塩基類の除去
- 肥料の活性化
- ドライスポットの軽減
- 透水不良の解消
- 固結土壌の膨軟化
- アルカリ性用水のpH調整

JAHT CORPORATION
1-1-4 SHINSENRI-NISHIMACHI, TOYONAKA, OSAKA, JAPAN